



国宝粉河寺縁起と

粉河寺の歴史

令和2年(2020) 10月17日(土)～11月23日(月・祝)

前期:10月17日～11月1日 国宝粉河寺縁起・前半「獵師による粉河寺創建譚」
後期:11月3日～11月23日 国宝粉河寺縁起・後半「長者娘の病を治す靈験譚」

講演会 「粉河寺縁起と粉河寺の歴史」 大河内 智之(主任学芸員)

11月15日(日)、13時30分～15時、先着50名(要事前申込)

会場:和歌山県立近代美術館(博物館となり)2階ホール

※10月17日(土)9時30分から電話(073-436-8670)または博物館受付にてお申込み下さい。

休館日 月曜日(ただし11月23日は開館)

開館時間 9時30分～17時(入館は16時30分まで)

入館料 一般 830円(680円) 大学生 520円(410円) ※()内は20名以上の団体料金

高校生以下、65歳以上、障害者手帳をお持ちの方、県内在学中の外国人留学生は無料

主催 和歌山県立博物館



◆JR和歌山駅・南海和歌山市駅からバス「県庁前」下車、徒歩2分
◆和歌山ICから車で約20分 ◆和歌山港から車で約7分

和歌山県立博物館
http://www.hakubutu.wakayama-c.ed.jp
〒640-8137 和歌山市牧上1-4-14 TEL.073-436-8670 FAX.073-423-2467
WAKAYAMA PREFECTURAL MUSEUM
— 和歌山城・南側 —

創建1250年記念特別展 国宝粉河寺縁起と粉河寺の歴史

西国三十三所第三番札所、観音信仰の聖地、粉河寺。その名は、粉河観音の靈験を描いた日本最古の縁起絵巻の一つ、国宝・粉河寺縁起によって広く知られています。縁起によれば、粉河寺は宝亀元年(770)に大伴孔子古により創建されたと伝えられ、今年はそのから1250年目の節目の年となります。『枕草子』には、寺は粉河と名が拳がり、後白河法皇の粉河観音への厚い信仰が知られるなど、都の人々にもその靈験が轟いた粉河寺は、観音信仰を基軸としつつ、葛城修験や禅律僧の活動とも結びついた重層的な信仰が織りなされてきた大寺院でした。

この特別展では、平安時代に描かれた国宝・粉河寺縁起の全貌を、前後期に分けて展示公開するとともに、連綿と制作され続けた粉河寺のさまざまな縁起絵巻や縁起絵の数々を一堂に紹介します。またかつての粉河寺領に伝わる仏像・仏画・古文書もあわせて紹介し、縁起の寺・粉河寺の豊饒な歴史と重厚な宗教文化を、現代に浮かび上がらせる機会といたします。



①粉河寺縁起(国宝・粉河寺蔵) ②千手観音立像(粉河寺蔵) ③千手観音二十八部衆及び童男行者・大伴孔子古像(粉河寺蔵) ④粉河寺縁起(元禄本・粉河寺蔵) ⑤粉河寺観音靈験記(粉河寺御池坊蔵) ⑥粉河寺観音靈験記(粉河寺蔵) ⑦粉河寺御池海岸本尊縁起(粉河寺御池坊蔵) ⑧粉河寺参詣曼荼羅(粉河寺蔵) ⑨二天立像(西方寺蔵)

【創建1250年記念連携企画】
和歌山市立博物館 (和歌山市湊本町3丁目2)
特別展「紀三井寺展」
10月31日(土)～12月13日(日)

【周辺施設の展覧会】
和歌山県立近代美術館 (博物館となり)
開館50周年記念特別展「もうひとつの日本美術史～近現代版画の名作2020～」9月19日(土)～11月23日(月・祝)
開館50周年記念「和歌山県立近代美術館 コレクションの50年」9月19日(土)～12月20日(日)
和歌山県立紀伊風土記の丘(和歌山市岩橋1411)
特別展「塙輪が語る古墳の祀り」10月3日(土)～12月6日(日)



紀三井寺参詣曼荼羅(紀三井寺蔵)